「地球の顔」ニュース

公開No.020

責任者　佐藤 欣一

回覧確認欄

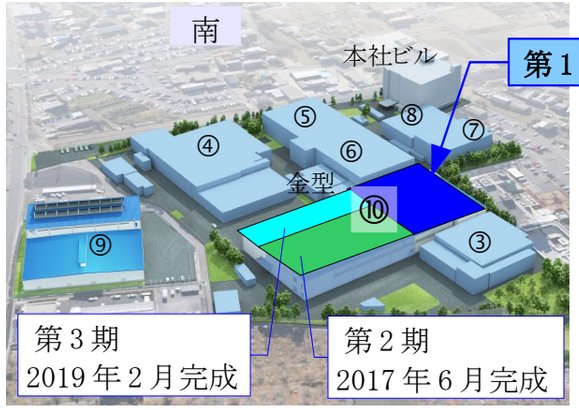
第 10 工場　第 1 期分　完成

◆ **第 1 期**

1 階　生産ｴﾘｱ　集研　完成検査室　計測室　材料研究室　現場事務所
　　切粉処理場　ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ室　消火ﾎﾟﾝﾌﾟ室　消火ｱﾗｰﾑ弁室　ﾄｲﾚ

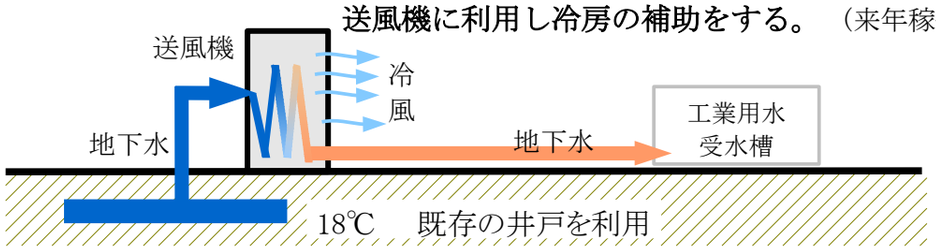
2 階　会議室 6 部屋　変電室　事務所　更衣室　備品庫 ﾄｲﾚ

延床面積は、第 3 期まで完成すると第 9 工場の約 2 倍となる。



【初の取り組みや工夫した点】　初 アイコク初

初 **地中熱の利用：年中ほぼ一定温度の地下水を**
送風機に利用し冷房の補助をする。（来年稼働）



※暖房には、更に効率の良いコンプレッサーの排熱利用を採用した。

初 **工場天井照明もＬＥＤ：事務所も含め全てＬＥＤ照明**
ＬＥＤは蛍光灯のようにパッと点く。（水銀灯だと数分かかる）
油分・汚れが付きにくいガラス製ライトカバーを採用した。
（メーカーと共同で開発）

初 雨水側溝には、廃水管の液漏れが目視できるように廃水配管を敷設したのと、保水量を大きくし消防用防火水槽の機能を持たせた。

初 上水道と工業用水道をポリエチレン配管とし、軽量化し躯体への負荷を低減させ、錆びもなく地震の揺れにも強くなった。

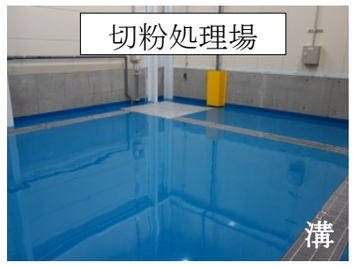
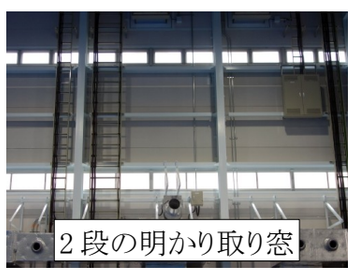
初 第 6 工場と第 10 工場の間は、専用屋根付き無人車でシャトル搬送する。

初 災害時停電に備え、２段の明り取り窓を設置した。

初 固定式泡消火設備を設置：消防法の危険物施設の一般取扱所であり、
天井から泡消火できる。
非常用電源と連動し、停電時も消火可能である。

・切粉処理場では、切粉はプレスして全量容器に収納して床置きを無くし、万が一油がこぼれても、周りの溝で油を回収し、ポンプアップして廃水処理場へ送る。

・生産エリアと 2 階フロアをしっかりした壁で仕切り、天井付近の空気が 2 階の会議室などに行かないようにした。

・将来天井から重量物を吊る予定やクレーンが無く、柱を細く少なくできたので、設備を置くスペースが増やせた。（耐震性は十分）

・床下の構造を工夫して、プレス機用ピットが掘れる場所を確保した。